

第4学年「総合」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果**
- 様々な学習・経験と結び付けながら、課題解決的に探究スパイラルを体験することができた。
 - 探究のプロセス（①課題の設定→②情報収集→③整理・分析→④まとめ・表現）を通して、実際に考え、判断したり表現したりする基礎的な力が身に付いた。
 - 自分で探究課題を設定し、意欲的に取り組むことができた。
- 課題**
- ▼ 課題解決に必要な情報収集の仕方や、整理・分析の仕方、まとめ・表現の仕方など、経験を蓄積し、多彩な考え方や手法を増やしていきたい。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 自ら問いを見付け、課題を設定する力。
- ◇ 主体的・協働的に学び、納得解を獲得する力。
- ◇ 学んだことをまとめ、他者へ発表する力。

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 伝統工芸や伝統芸能に携わる人に話を聞いたり、実際に体験したりして、児童が自ら考えられる授業をしていく。

言語活動の工夫

- 自らが決めたことをペアやグループで交流し、グループ発表に向けてどのようにまとめていくかを考えさせる場を設ける。また、発表の仕方やまとめ方を話し合うことで、自分の考えを相手に伝える力や聞く力を身に付けさせる。

ICT活用の工夫

- 一人一台タブレットを活用しながら、情報を収集する機会を設定する。

課題解決力育成の工夫

- 自らの問いをもち、調べる学習コンクールなどの機会を生かして、納得のいく答えを導き出す経験を積み重ねていく。
- 探究ノートの思考ツールを活用して、探究的な考え方ができるようにする。

達成目標

- 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようになる。
 - 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになる。
 - 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。